

**住宅購入に消費増税は、どの様に影響するのか?**

「どの元過ぎれば熱さ忘れる」という諺もあるように、あれほど騒がれた地球温暖化についても、現在では、中々、新聞記事にもならないような、状況が確立してきています。地球温暖化は確実に進行しています。国連の気候変動に関する、政府間パネル(IPCC)は、本年10月に特別報告書を公表し、産業革命以前に比較すると、世界の平均気温の上昇を1.5℃に抑える目標の達成には、2050年までに、二酸化炭素の排出を実質0にする必要がある。と指摘しています。しかし現状では、各国の削減目標を合算しても1.5℃はおろか、昨年のパリ協定が掲げた、気温上昇2℃未満に抑える「2℃目標」すら実現出来ないことを指摘しています。

このままの状況で、継ぎは何か起きるのか?その答えとしての4種類のシナリオが公表されています。

**どの様な最終シナリオが掲げられているのか?**

それは①秩序の移行、②技術的ブレークスルー、③混乱、④失敗、の4つのシナリオです。それらを細かく分析すると次のような答えになります。

①今後の国連気候変動枠組み条約締結国会議(COP)で各国政府が早期に適切な対応を取り、目達成コースに乗るシナリオ。②政策は不十分だが、大きな技術の発展がそれを補うだろうというかなり楽観的なシナリオ。③政策対応が遅れ、今よりも極端な異常気象に直面し、各国とも急激な厳しい政策がとられるというシナリオ。④目標達成に失敗し、3℃・4℃上昇となる悲観的なシナリオ。この4つのシナリオが考えられています。

**「ESG投資家」が変える地球温暖化対策?**

この質問は、本年9月に米国のサンフランシスコで開催された投資家向けシンポジウムで問われた質問で、この会場には世界各国の「ESG投資家」と言われる「環境、社会、企業統治」に配慮している企業を重視・選別して行う投資でESGはそれぞれ英語の頭文字をあわせてことばです。環境では地球温暖化対策や生物多様性の保護活動、社会では人権への対応や地域貢献活動、企業統治では法令遵守、社外取締役の独立性、情報開示などを重視。国際連合が2006年、投資家がとるべき行動として責任投資原則を打ち出し、ESGの観点から投資するよう提唱したため、欧米の機関投資家を中心に企業の投資価値を測る新しい評価項目として関心を集めるようになってきました。従来の投資が売上高や利益など過去の実績を表す財務指標を重視したのに対し、ESG投資は環境、社会、企業統治を重視することが結局は企業の持続的成長や中長期的収益につながり、財務指標から見えにくいリスクを排除できるという発想

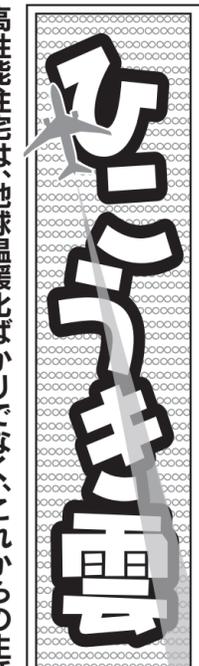
**企業活動に大きな影響を与える温暖化対策?**

シンポジウムに参加した「ESG投資家」の大多数の63%が③と答え、④の悲観的なシナリオを選んだ人は16%、②が14%、①が5%、という結果になったそう。

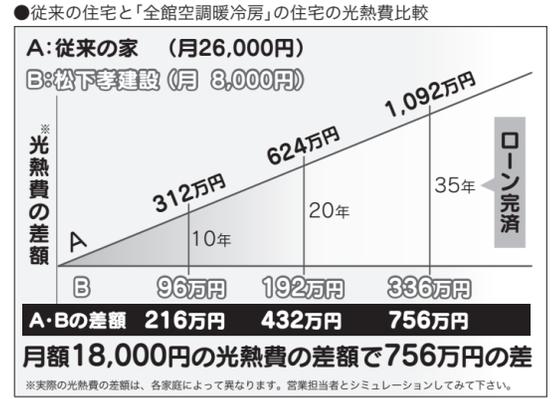
④以外のシナリオは、最終的に脱炭素社会が実現するという結論ですが、多くの投資家が考える③のシナリオでは、脱炭素社会のゴールにたどり着く過程で、異常気象の影響で、漁業の操業への影響、農業の生産適地の変化、企業活動の物理的リスクの増大、産業構造の急激な転換に伴う混乱も予測されます。金融市場といえども、地球温暖化による混乱を回避する手段は無く、世界の金融当局者で構成する「気候変動関連財務情報開示タスクフォース」は、企業や金融機関、機関投資家に情報開示とシナリオ分析の実施を提言しています。

# 温暖化対策は企業投資にも及んでくる!

対岸の火事ではなく我々も当事者として、地球温暖化に向き合わなければならぬ。



発行所 株式会社 松下孝建設  
 発行人 松下 孝 行  
 編集責任 齋藤 恭 誠  
 ■本社  
 〒891-0108  
 鹿児島市中山1丁目14-29  
 TEL 099-267-7594  
 ☎ 0120-079-089



全館空調暖冷房の場合、1家庭(4~6人)のオール電化住宅で、光熱費+平均的な生活電気を含めて1月が最高12,000円で、暖冷房が必要無い中間月は5,000円程度、月額平均8,000円、合計96,000円(松下孝建設の高額家庭)のシミュレーション(端数四捨五入)、その差が上表で、差額は35年で756万円という驚くべき数字になります。

●各月の光熱費

1月	12,000円
2月	10,000円
3月	7,000円
4月	5,000円
5月	5,000円
6月	5,000円
7月	10,000円
8月	10,000円
9月	9,000円
10月	7,000円
11月	8,000円
12月	8,000円

**工務店と建て主様が参加できる温暖化対策?**

温暖化対策は、今までは企業活動によるのではなく、自然現象と言いつつ放ってきた投資家や大企業を巻き込むまでに、緊迫化しています。我々もまた地球温暖化の当事者で、見物人ではないので使用するのは、未だにうなぎ登りで増えているからです。米国のトランプ大統領の状況です。これからの住宅を建てるなら、

左表は、住宅の建て替え希望のお客様の光熱費と、松下孝建設の住宅に、お住まいの中でも比較的高額の光熱費を使用している建て主様との比較です。(平均的には、月額6,000円程度)生活によって多様な光熱費になりますが、その差は756万円もの差になります。我々が出来る地球温暖化防止はこの様な省エネルギーを行うことではないでしょうか。

ハイブリッド・エコ・ハートQ  
 「エアコン1台、全室低温空調暖冷房」

## 和楽展示場 公開中!



美しい『和』のシンプルさを職人の技と ところを込めて丁寧に仕上げた 心地よい空間



鹿児島島の気候に適した高気密・高断熱をそのままに、「和」を全面にイメージしたモデルハウスです。一般家庭用のリビングサイズのエアコンで室内空間のすべてが温度差なく、一年中を快適に過ごせます。高性能樹脂サッシと24時間計画換気で、結露の発生を防止、家族の健康と住宅の高耐久性を実現しました。ZEH基準を標準クリアした外皮性能とハウス・オブ・ザ・イヤー2013で大賞を受賞した公的にも認められた施工技術の粋。外装、内装共にこれまでの松下孝建設とは少し違う趣を感じてください。

ハイブリッド・エコ・ハートQ  
 「エアコン1台、全室低温空調暖冷房」

## 加世田展示場 公開中!



加世田展示場は将来、ZEH(ゼロ・エネルギー・ハウス)の為に太陽光パネルが取り付けられる様に大屋根構造になっています。また、新しく開発された新型暖冷房空調システムが取り付けられており、夏も冬も低温空調による省エネルギーで快適なシステムが稼働する予定です。平屋感覚の住宅ですが、屋根構造を活かして一室だけ2階に居室が設けられています。大きな開口部と大屋根の今までの加世田にはない全く新しいコンセプトで設計された住宅ですから是非、ご覧頂きたいと思います。この展示場で新しい松下孝建設に出会えることと存じますので、ご家族の皆様でお越しください。心からお待ち申し上げております。

ハイブリッド・エコ・ハートQ  
 「エアコン1台、全室低温空調暖冷房」

## 薩摩川内展示場 販売受付中!



松下孝建設のHybrid eco-heart Q工法は、充填断熱と外張り断熱のW断熱工法です。外張り断熱には、遮熱シートが貼られ、住宅が蓄熱されるのを防ぎます。内側の充填断熱は外部の影響を受けにくいので、保冷材として室内の急な温度変化を防止、また、気密性が高いので、室内の涼しい空気が必要以上に外部へ逃げていくのを防いでいます。松下孝建設が標準採用している第三種換気システムは、家全体の空気を動かし、エアコン一台でも温度差の少ない、快適な室内空間を実現しています。

住宅に関する資料等もフリーダイヤルにてご請求下さい。資料等をお送り致します。 ☎ 0120-079-089